

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策1-4-2 経営安定化の支援

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 中小企業課長 野坂 一弥 電話番号 0852-22-5881

事務事業の名称	中小企業に対する間接融資事務（中小企業制度融資）	
目的	(1) 対象	県内の中小企業
	(2) 意図	施設・設備の近代化、経営の合理化等に必要な資金が調達できる。
事業概要	県内中小企業に長期・低利の資金調達を円滑に行ってもらうため、金融機関に対して制度融資原資の一部を無利子で預託する。また、制度融資の実効性を担保するため、信用保証協会に対し、損失補償及び保証料補給を行う。	

2. 成果参考指標

(1) 指標名	制度融資利用実績	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			2,200	2,200	1,800	
式・定義	融資実績（件数）	実績値	2,204	1,253	1,057	866.00		件
		達成率		57.00	48.00	48.20		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			件
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	49,606,134	62,723,528
うち一般財源(千円)	284,315	338,834

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成26年度の融資実績は866件と、前年度に比べて減少した。
- 「経営力強化支援資金」（認定経営革新等支援機関の支援を受け経営改善計画を作成した中小企業者向け融資）の融資件数は前年度比で196.2%と高い伸びとなっている。
- 平成27年度4月～5月の融資実績は対前年比で件数95.5%とほぼ前年並みで推移している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

円安等による原材料等のコスト上昇に対する支援として平成27年2月に「円安等対策資金」を創設し、順調に利用されている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 利用件数や金額が伸び悩んでいる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 金融緩和の影響もあり、民間金融機関で低利な融資が提供されている。
 - 前向きな設備投資より、経営改善が優先課題という企業では新たな資金の需要が少ない。
- ③原因を解消するための「課題」
- 民間金融機関の金利水準の推移を踏まえ、適宜、制度融資の融資利率水準の見直しを実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

より利用しやすい制度となるよう、次の取り組みが必要である。

- 商工団体及び金融機関との意見交換を通じて、県内中小企業の資金ニーズを把握する。
- 適宜、融資利率水準の見直しを実施する。
- 様々な資金需要に対し、企業ニーズに合致した融資メニューの見直しを引き続き検討する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）